

『環境技術の農業生産への貢献の可能性』

懇談会：農業と環境技術

企画主旨

寒冷地には、無尽蔵とも言える雪や寒さを利用した伝統的な貯蔵技術があります。これ等の技術を活かした低コスト・低負荷の貯蔵施設や生産作業施設を、農家単位もしくは共同で設置・管理し、出荷の季節間調整や直販用の短期貯蔵、集配施設等に利用することができれば、生産・消費の双方にとって魅力ある農業の発展に貢献できると考えます。

本企画は、日本建築学会の特色ある支部活動の「積雪寒冷気候を生かした低コスト貯蔵技術による農業生産環境改善への貢献」の一環で実施します。建築環境学の研究者と農家との意見交換を通して、地域毎に利用可能な技術や施設の可能性を探り、生産現場の活性化に結びつけようとする試みの一つです。

日本建築学会北海道支部 環境工学専門委員会
主査 石田秀樹

開催日：2006年7月18日（参加無料，食事代：各自負担）

■見学会【14：30～15：30】

- ・コンポスト（共用型、半熟成回収）
- ・人工氷室（メルティング・ストッカー）

○会場：（株）レビオ

滝川市泉町1丁目1-21（TEL:0125-23-6660，FAX:0125-23-6658）

■意見交換会（話題提供1.2.3.4.）【16：00～18：00】

1. 「生産と消費を繋ぐサイクルづくり」高瀬勝，（（株）レビオ代表取締役）
 - ・回収型半熟成共用コンポストの普及について
2. 「環境技術の農業施設への応用」荒谷登，（北海道大学名誉教授）
 - ・雪冷却保冷库、氷床冷却型人工氷室の実践紹介
 - ・除湿型冷却の穀類貯蔵への応用
 - ・ビニールハウスの有効活用、簡易断熱ハウスの提案、等
3. 「小型保冷库の商品化」菅野舟一，（稲留工業代表取締役）
4. 「伝統貯蔵庫の多目的利用」石田秀樹，（北海道東海大学）

○会場：蕎麦道場「ピンネ荘」

樺戸郡新十津川町字総進254番地2（TEL:0125-76-3456，FAX:0125-76-2196）

夕食【18：00～19：00】～懇談会

夕食に引き続き、同会場にて懇談会を予定しています。

主催：日本建築学会北海道支部 環境工学専門委員会

共催：滝川新農業未来塾，新十津川農業生産法人，（株）レビオ，
稲留工業，蕎麦道場ピンネ荘，滝川市役所

問い合わせ先：高瀬 勝（（株）レビオ）TEL:0125-23-6660，FAX:0125-23-6658

石田秀樹（北海道東海大学）TEL:0166-61-5111，FAX:0166-62-8180